

砂漠と海に魅了された心、そして世界にたいする永遠の渴望。
 トリン・ティミンバ (映像作家・批評家)
 私たちの友情はいつもこれらを共有するところからはじまった。

網子、網子
 今福龍太といふ菜乃蝶子代、太古乃へり緒、トベ!
 吉増剛造 (詩人)

今福龍太さんの著書は、どこまで学生時代からずっと羅針盤のような存在だった。
 小さな場所から大きな世界を冒険し、自分の中にある可能性の萌芽を、光のほうに導いてくれる。
 大切な指針でもあるこのアンソロジーの刊行を心から楽しみにしている。
 石川直樹 (写真家)

【本コレクションの特徴】
 ●著者の理論的主著を柱に、新編集のアンソロジー、傑作紀行、および新著となる批評的寓話によって構成される多彩な5巻本コレクション。
 ●旧作の復刊も、図版の刷新や新原稿の付加など、「バルティータ」版独自の清新で意欲的な新編集による完全版。
 ●末永く愛読するにふさわしい、堅牢な造本と美麗な装幀(装幀：西山孝司)。

【第一回配本】二〇一七年二月刊行予定
クレオール主義 バルティータⅠ
 【第二回配本】二〇一七年四月刊行予定
群島 世界論 バルティータⅡ

【申込書】本状を最寄りの書店にお持ちの上、ご注文ください。

【アマゾンでは販売しておりません】

クレオール主義	バルティータⅠ	冊	書店 [番線] 印 (書店記入欄)
群島 世界論	バルティータⅡ	冊	
隠すことの叡知	バルティータⅢ	冊	
ボーダー・クロニクルズ	バルティータⅣ	冊	
ないものがある世界	バルティータⅤ	冊	
今福龍太コレクション (バルティータ) Partita 全巻セット	セット	冊	
お名前	電話番号		
ご住所			

水声社
 〓
 〓
 〓
 〓
 〓

Partita
今福龍太コレクション
 『バルティータ』
 全5巻



版画：José Júlio de Calasans Neto

【推薦の言葉】

幾たびも森と呼ばれ、ここではない場所に旅立ち、幾つものほらかな海を渡り、島から島へと渡ったこの旅人は、その内に宿した深い記憶とともに、彼方へと身を躍らせるのだ。

松岡正剛

(編集工学研究所所長)

山田登世子

(フランス文学者)

群島響和社会——思わず耳は海洋へ開く。世界の群島を欲望する魂のモスキエ。キラメク海へ帆を張るイトマンの漁夫。学者と文学者の谷間に橋を架ける工夫。彼の冒険の跡を追うのは大きな欲ひだ。

川満信一

(思想家・詩人)

Partita